

社会福祉法人共慈会

令和5年度事業計画（2023年4月～2024年3月）

【基本理念と方針】

私たち社会福祉法人共慈会は、「共に慈しみ」合いながら、慣れ親しんだ地域で自分らしく生きることができるよう地域福祉の担い手として、必要とされている社会福祉活動を、地域住民と共に考え、実行、推進していきます。

1. 自分らしく生きる

高齢者も障害者も子供も大人も同じ人間としての尊厳を大切に、自分らしさの実現を目指します。

2. 地域とのつながりと信頼

家族、友人や、地域の組織などと信頼の輪でつなげ個人を支えます。

3. 専門的介護支援

専門家としての自覚を持つ職員が、介護、医療などと連携し、地域包括システムをより一層進め個人の生活を支えます。

これらの3つの方針に基づき、信頼・財政・専門性を併せ持つ、持続可能な社会福祉法人として地域の皆様と共に学び歩んでいきます。

〔背景〕

2019年6月に社会福祉法人共慈会が設立した。ほぼ時を同じくして新型コロナウイルス感染症の大流行が始まったことにより、組織体系の弱体化、赤字計上と経営基盤に重大なダメージを受けることとなった。その対策として、WAM融資を利用しながら、2022年は運営体制の整理および事業戦略の再確認を行い、結果として、法人全体の収支状況を改善し黒字転換を図ることができた。

〔運営方針〕

2023年度は、前年度において健全化した収支構造を維持し、事業基盤を拡充していくことを大方針とする。法人の全事業部の利益拡充を最重要課題とし、人材育成及び運営体制の整備と事業推進を行う。

また、リスク管理におけるBCPの活用強化、コロナ禍で停滞している地域住民との交流企画や活動強化を図り、地域における福祉拠点としての役割を担うべく共慈会らしい支援メニューや地域交流、行事の再開をめざす。

〔重点目標〕

1. 組織、事業推進体制の確立。

本部・事務局、運営、事業推進ライン、人事管理などの組織体制の確立に向けて、計画的な人

事を検討する。

2. 事業戦略を実行展開するためのマネジメントを構築する。

通所・在宅サービス・グループホームがそれぞれの役割を果たせるように事業戦略を策定し、実行展開のマネジメントを着実に形成、構築していく。

3. キャリアパスに基づく人事考課制度の定着に取り組む。

人事考課制度の定着により、組織の積極性・永続性を高めていく。

4. 管理職、リーダーの育成を図る。

福祉ミッションと実務力、法令遵守の意識を培うプログラムを策定し実施する。

5. 風水害、地震などの防災対策を強化し、避難時の地域との連携体制作りに取り組む。

B C Pの点検、整備、地域との連携体制を作り、防災訓練を実施する。

6. ポストコロナ時代の新しい地域交流の形を創造する。

コロナ禍で停滞していた地域住民との交流企画や活動強化を図り、地域における福祉拠点としての役割を担うべく共慈会らしい支援メニューや地域交流、行事の再開をめざす。

I. 社会福祉事業

(1) 介護保険事業

- ① **訪問介護**：利用者の意思を尊重しながら、家族・ケアマネジャー等と情報連携して介護計画に従いケアを行う。

事業戦略	前年度は訪問介護、障害居宅、障害移動支援の3事業を単独で売上、収益を目標に定めるのではなく、3事業合算で売上目標を設定し達成することができた。新年度も継続して3事業での売上目標月400万円、収益売上金額の10%を設定する事に加え、人件費率を抑えつつ昨年度同様に新規受け入れの扉を開き続け契約へと進めていく。また、サービス提供責任者がプレイングマネージャーとして、新規契約の確保、新規利用者の支援を行う事で利用者の支援情報をヘルパーに共有しながら移行していき、利用者にとって安全で安心のできるサービス提供を行っていく。
利用者サービスの向上	事業部として在籍ヘルパーのキャリア、スキル等も正確に見極め、どのような利用者でも受け入れるという事ではなく、サービス事業提供者として、自身の度量を過信することなく、都度確認しながら顧客満足度を高める事ができる選択を行っていく。同時に職員の業務軽減につながる事を意識した受け入れを行う。
人材育成	知識、経験のある高齢のヘルパーの力も借りつつ、リファラル採用（社内紹介）の導入で若い世代の採用も進めていく。必要に応じて常勤ヘルパーの採用も行う。ICT化や福祉保健にまつわる適切な支援教育を中心に研修を行い、ケアの内容や質を高めていく。
地域社会への	今年度は葛西地区周辺の利用者の受け入れを再強化していく。又、江

取り組み	戸川区北部のヘルパーも在籍している事で江戸川区広範囲での利用者にも対応できる体制を作る。
------	--

- ② **地域密着通所介護**: 利用者が自立した日常生活を営むことができるよう生活機能の維持又は向上を目指し、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的な介護負担の軽減を図ることを目的に介護サービスを提供する。

事業戦略	前年度に引き続きデイサービス事業が収益を上げるため、利用者数に応じた運営体制、収益構造を確立する。介護保険法上必要な書類の整備を進め、実地指導に向けた対応を職員全員で取り組む。又、一年間を通じて利用者人数の積み上げに重点を置き、月間平均稼働目標 85%、売上目標月 400 万円～420 万円、利益率 30%を目指す。「どこにでもあるようなデイサービスに見えて、実は虹の会 ONLY の万人受けするデイサービス」、「楽しく、安心、安全に一日を過ごす、また来たくなるデイサービス」を目指す。
利用者サービスの向上	利用者目線を第一に利用者一人一人その日の状態を確認しながら、利用者に沿った支援を行う。適正で効率の良いサービス提供を行う。又、暖かさあふれるデイサービスである事を広めていけるよう顧客満足度を高めていく。
人材育成	自身のキャリアアップ、スキルアップに伴い、各自の業務分担の変更を行っていく。業務分担が変わることで出来た時間をどのように使っていくのかを職員全員が考えていく。又、職員全員が自分には何ができるのか？自分は何をしたいのか？を常に意識して業務に取り組む。
地域社会への取り組み	葛西地区中心の送迎範囲で効率よく利用者を集客する。又、送迎車両の2台活用で広い送迎範囲にも対応した利用者に対応していき、江戸川区でデイサービスを必要とする利用者の要望に応じていく。

- ③ **総合事業（通所型サービス基準緩和型）**: 軽体操やレクリエーションを実施し、利用者の心身機能の維持回復を図り、利用の生活機能の維持又は向上を目指す。

事業戦略	軽体操、脳トレ、麻雀を中心に少人数、かつ限定された地域範囲の中でサービス内容を確認しながら継続していく。
利用者サービスの向上	利用者の要望の中でできる事、やるべき事を意識しながら来所して頂いた利用者が楽しく過ごして頂けるサービス提供を行う。
人材育成	他事業と兼務業務の中で後任の育成にも取り組んでいく。
地域社会への取り組み	事業所の位置する場所ならではの事も意識しながら近隣地域の方々に気軽に参加して頂ける事業を目指す。

(2) 障害者総合支援事業

- ① **障害居宅介護・移動支援**：居宅において、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる援助、および円滑な外出ができるように支援を行う。

事業戦略	障害居宅介護、移動支援は、訪問介護と三事業を同一チームで行っている為、事業戦略としては、訪問介護で述べた内容と同様になる。加えて言うのであれば、事業単体毎に黒字化を目指すことはもちろんであるが、三事業合算での目標数字を定め訪問介護事業部としての収益健全化を目指す。
利用者サービスの向上	こちらも訪問介護と内容は同様であるが、各事業の特性を理解し、適正かつ効率的なサービス提供を行う。
人材育成	訪問事業で述べた人材育成に加え、中間管理職層の職員が介護保険法、障害福祉法における帳票類のエビデンスの必要性、どのように収益を残していくべきかという収益構造を理解し実現していく。
地域社会への取り組み	障害福祉に関する地域社会での必要性を十分に理解した上で多様化するニーズに応じていく事を目指す。

- ② **相談支援**：障害者（児）の自立した生活を支え、障害者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援する。

事業戦略	相談支援専門員一人一人が担当する利用者数の適正化を図り、新規受け入れにも調整しながら対応していく。新年度月 81 万円の売り上げ目標と 10%の収益目標を掲げていく。利用者の帳票作成の月間平均化により安定した売り上げを維持していく。
利用者サービスの向上	多様化する利用者のニーズをくみ取る事、又、適切なアドバイスやサービス提供を提示していく事による顧客満足度、プラス信頼関係の構築を目指す。
人材育成	新規採用を進めて採用していく。各自が持つ知識や経験を共有する事で多様化する利用者ニーズに広く対応していける強い事業部を形成していく。
地域社会への取り組み	障害福祉に関する地域社会での必要性を十分に理解し、多様化するニーズに応じていく。又、高齢化社会に突入する利用者への提案についても今後の課題として取り組んでいく。

- ③ **共同生活援助**：病気や障害により自立生活を一人で行っていくことが困難であっても、支援を受けながら少人数で1つの住居と一緒に暮らすことで、自立心を養い、地域と関係を持ちながら生活できることを目指す。

事業戦略	現在の2棟満床、及び入居稼働率 75%の継続を維持。適正人員配置と業務負荷のない業務分担を確立し売上目標月 280 万円、人件費率
------	---

	も意識することで単月黒字化と先行資金回収を目指す。次の増設については、全体の収支改善を第一に考えながら、物件内容、物件所在地、費用等を考え検討していく。
利用者サービスの向上	入居者一人一人の求める生活とグループホームとしてのサービス範囲を明確化し、自分の家である事と共同生活の場である事を入居者と職員双方に共通認識の理解を深め一貫性のあるサービスを行う。
人材育成	サービス提供の質の向上、職員が入居者全員に対して同じサービス提供ができるような仕組み作りを行い、売り上げを得る為に何をしなければいけないかを一人一人が理解し、学んでいく。
地域社会への取り組み	地域住人との関わりや就労先、医療機関、サービス事業所などとの関わりを持つ事で地域社会での動向や求められるニーズにアンテナを張り取り組んでいく。

II. 公益事業

- (1) **介護保険居宅介護支援事業**：利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、ケアマネジャーが、利用者の心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、事業者や関係機関との連絡・調整を行う。

事業戦略	新規問い合わせ間口を広げ担当利用者件数月 100 件、売上目標月 124 万円を目指す。昨年度作り上げてきた地域包括、サービス事業所からの信頼を更に深いものとする事で継続的に友好関係を築いていく。法人内の訪問介護、デイサービスとの連携で安定した利用者供給も行っていく。
利用者サービスの向上	利用者、ご家族のニーズをくみ取り、適正かつ効率的な計画を作成していく。ケアマネジャーとして中立な立場から利用者、ご家族、サービス提供事業者各々が納得して満足できるプラン作成を行う。
人材育成	各自のケアマネジャーにおける研修への参加から事業部、法人へどのように生かしていくかを考える。新規採用における OJT を現在の職員全員が意識をもって行う。
地域社会への取り組み	医療資源や地域資源などを熟知し、介護相談会等を通し、広く地域住民の介護窓口となり、住み慣れた地域でできるだけ長く暮らせるようなサポートを続ける。

- (2) **福祉有償運送事業**：タクシー等の公共交通機関によっては要介護者、身体障害者等に対する十分な輸送サービスが確保できないと認められる場合に、営利とは認められない範囲の対

価値によって、乗車定員11人未満の自家用自動車を使用して会員に対して行うドア・ツードアの個別輸送サービスを提供する。

事業戦略	新年度秋の協議会に向けた運賃改正案の作成を視野に入れて、現在の運賃での活動を進めながら月80件、目標売上月15万円で完全黒字化を目指す。又、収益を今まで以上に残していく。
利用者サービスの向上	年々福祉有償運送利用のニーズは増加しており、利用される方の身体状態も多様化してきている。その為、介護に係る知識と経験を増やす事で安全で安心した運送サービスを行っていく。
人材育成	若い世代の人たちが福祉有償運送ドライバーとして業務ができる採用を行う。
地域社会への取り組み	現在も地域社会の中で地域貢献できる業務であると認識しているが、運賃改正を行う事、新しいドライバーを採用する事で現在よりも広範囲での活動ができる事を目指す。

Ⅲ. 地域における公益的な取り組み

- (1) 地域における福祉拠点として、引き続き単身高齢者、認知症等の相談に応じていく。虐待、孤立死を防止する為に近隣自治会や包括支援センター等と連携する。
- (2) 「共慈会サポート」として緊急の手助け、病院付き添いや車いす外出、介護相談など地域住民の不安の解消や希望にこたえる活動を継続する。今年度はコロナ禍で活動できなかったボランティアの掘り起こしをして地域の力を借りながら、社会問題解決の道を探る。
- (3) 江戸川区児童相談所との派遣協定により「育児支援ヘルパー」を派遣する。

Ⅳ. 事務局

(1) 本部事務局

理事会、評議員会、責任者会議開催運営、全事業の財政、人事、総務などを統括する。

《事業戦略》本部・事務局、運営、事業推進ライン、人事管理などの組織体制を整理、見直し、計画的な人事を検討する。感染症、災害などリスク管理などBCPに沿ったマネジメントに力を注ぐ。

(2) 共慈会サポート・ボランティア事務局

共慈会サポート協力職員、虹の空広場、デイサービス等に参加するボランティアの把握、保険など運営全般の窓口および運営母体となる。

《事業戦略》そうめん流し、食事会などの主要行事、各事業で縮小していた基本的な支援メニューの再開をめざす。